

宇都宮市と PR TIMES が連携協定 宇都宮の魅力発信・発信力強化で協力

- プレスリリース配信の無償提供や広報セミナーで協力。宇都宮の魅力を全国へ -



宇都宮市
UTSUNOMIYA CITY



PR TIMES

株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口 拓己、東証プライム・名証プレミア：3922）は、宇都宮市（栃木県、市長：佐藤 栄一）と 2026 年 7 月 17 日（金）に連携協定を締結いたしました。本協定は、宇都宮市と PR TIMES が相互に連携・協力することで、宇都宮の魅力を全国に対し効果的に発信することを目的とします。

本協定に基づき、宇都宮市に関連する事業者等に対する半年間のプレスリリース配信の無償提供や、広報・PR セミナーを実施するほか、宇都宮市による情報発信の無償化を通じ、宇都宮の魅力発信とエリア全体の発信力向上を推進してまいります。

なお、当社による栃木県内の自治体との連携は初めてで、栃木県に本拠を置く企業・団体等との連携は 2022 年 12 月の下野新聞社以来、3 例目となります。

<本協定で実施する取り組み>

- ・宇都宮市が認定や表彰などを行っている事業者等に「PR TIMES」を無償で活用できるプログラムを提供
- ・宇都宮市職員や、企業・団体向けに広報・PR をテーマとした情報発信セミナーを開催
- ・宇都宮市による魅力に資する取組の発信に際し「PR TIMES」を無償提供

宇都宮市内事業者の情報発信支援と情報流通の拡大

宇都宮市は、栃木県の県庁所在地であり、餃子やカクテル、ジャズといった食・文化のまちとして知られるとともに、2023 年には次世代型路面電車（LRT）「ライトライン」が開業するなど、伝統と先進が共存する県内最大の都市です。また、歴史的にも関東と東北の人や物の流れの結節点として発展してきたとされ、門前町や城下町、宿場町としての顔を併せ持つ特有の歴史や、独自性のある産業、そしてそれらを基にした観光資源を育んできました。

現在は、「人や企業から選ばれるまち」の実現に向け、市民・事業者・行政などの多様な主体が一体となり、「オール宇都宮」による宇都宮市の魅力を高め、市内外へ広めていけるよう取り組んでいます。

今回、当社は宇都宮市と連携し、市内対象事業者がプレスリリース配信サービス「PR TIMES」を無償で利用できるプログラムを提供します。地元事業者、ひいては宇都宮市自身が「PR TIMES」の活用を通じて、広報・PR による認知拡大と事業成長を実感していただくとともに、宇都宮市が推進する「宇都宮プライド」のさらなる浸透と信頼の獲得につながることを期待しています。

提供する支援内容：プレスリリース配信の無償提供、広報セミナー、市政の情報発信促進

本協定に基づき、以下の 3 つの施策を実施します。

1. 宇都宮市内事業者向け「特別プログラム」の提供（条件付き無償プログラム）

宇都宮市が認定や表彰などを行っている事業者等に対し、本来有償の PR TIMES でのプレスリリース配信を一定期間・一定枠で無償提供します。コストを気にせず情報発信に挑戦できる機会を作り、全国のメディアや生活者へ情報を届けることで、認知を広げるきっかけとなります。

プログラム名	宇都宮市×PR TIMES 情報発信支援プログラム
内容	宇都宮市が認定や表彰などを行っている事業者等に対して、プレスリリース配信サービス「PR TIMES」を任意の利用開始日から6カ月間、3件まで無料でご利用いただけます。 ※4件目以降、または利用開始から6カ月経過後の配信は、所定のご利用料金をいただきます。（継続は任意です）
対象企業	＜以下の①～⑤の条件をすべて満たされるお客さま＞ ①法人または法人格を有する企業・団体及び個人事業主 ②過去にプレスリリース配信サービス「PR TIMES」のご利用実績がない企業・団体・個人事業主（広告代理店等を通じたご利用のみの場合は可能） ③PR TIMES の定める審査基準・配信基準を満たし、かつ別途定める基準を満たす企業・団体・個人事業主 ④宇都宮市×PR TIMES 情報発信支援プログラム専用の所定フォームを通じてお申し込みいただくこと ⑤宇都宮市の紹介を受けること（市が認定・表彰等を行う事業者など）
取扱開始日	2026年7月17日
お申込み方法	別途用意する専用申込フォームより申請

2. 事業者向け「広報・PRセミナー」の開催

市内事業者の情報発信力を底上げするため、宇都宮市とPR TIMESの共同開催により、広報・PRやプレスリリースなどの情報発信に関するセミナーを実施します。「広報・PRとは何か?」「効果的なプレスリリースの書き方」「経営に活かすPR思考」など、基礎的な内容から実践的なワークショップ形式まで検討してまいります。本協定に基づき、PR TIMESは講師の派遣等を行います。

3. 宇都宮市発の情報発信強化をサポート

宇都宮市による都市の魅力の向上に資する取組の発信に際して、「PR TIMES」アカウントを無償で提供します。本協定の有効期間中、配信回数の制限なくご利用いただけます。市が取り組む施策や事業、地域の魅力等を幅広く発信することで、宇都宮市が中心となり推進する「宇都宮プライド」の認知拡大につながるようプレスリリース配信の機会を提供します。

地域連携は111例目に

「PR TIMES」は、地方地域発の情報流通を目指し、全国各地域に根差す金融機関やメディア・自治体と提携を進めています。本協定の締結により、当社が地域企業や自治体等団体と地方情報流通に向けて締結したアライアンスは全国47都道府県で100例以上に拡大するに至りました（地方金融機関43例（35行・8信金）、地方メディア41社、官公庁・自治体等1道1府3県15市7機関の合計111例）。



これらの地域連携による提携プログラム（旧特別プラン含む）を通じたご利用企業数は延べ4800社以上となり、全国47都道府県の様々な業界の企業・団体に活用いただく契機となっています。

また、提携プログラムによるプレスリリース配信の無償提供に加え、当社が公認するプレスリリースエバンジェリストと協力しながら、全国各地で広報の基礎からプレスリリースの活用法を伝える勉強会やセミナーを開催しています。

今後「宇都宮市プログラム」の提供を通じて、宇都宮市の事業者発の情報流通を活発にし、行動の成果や思いを全国に広く届けられるよう取り組んでまいります。

連携に寄せるコメント

宇都宮市 市長 佐藤 栄一 氏

このたび、株式会社PR TIMES様と宇都宮の魅力発信に関する連携協定を締結できたことを、大変嬉しく思います。

本市では、これまで都市ブランドの確立・発信に取り組み、「本市を好きな市民の割合」は9割を超える高い水準を維持するなど、着実な成果を上げてまいりました。今後も、市民や事業者には誇りを、市外の方には憧れをもっていただくためには、これまで以上に本市の魅力を効果的に発信していくことが重要であります。



今回の協定締結を契機に、高い情報発信力を持つ株式会社PR TIMES様と連携しながら、本市の魅力をより広く発信することで、更なる交流・関係人口の創出・拡大や移住・定住の促進につながることを期待しております。

株式会社PR TIMES 代表取締役 山口 拓己

宇都宮市と本協定を締結できることを、大変うれしく思います。

地域の魅力は、外から与えられるものでも、言葉で飾るだけで生まれるものでもありません。そこで働き、暮らす一人ひとりの行動の中にある。その背景にある思いや工夫が伝わることで、市民の誇りや地域への信頼につながっていくのだと思います。宇都宮市の皆さまと力を合わせ、市内の事業者が自らの行動を見つめ、自分たちの言葉で全国へ届け続けられる力を育んでいきます。

宇都宮から生まれる一つひとつの行動が全国へ届き、共感を生み、次の行動につながる。その積み重ねが「宇都宮プライド」を育み、「100年先も誇れるまち」をつくる力になると信じています。私たちも宇都宮の皆さまとともに考え、ともに汗をかきながら、その実現に力を尽くしてまいります。



株式会社PR TIMES 第二営業部 パートナービジネスプロジェクト 森 悠哉

このたび、宇都宮市様と連携協定を締結できましたこと、大変光栄に存じます。

宇都宮市の情報発信は、いつも工夫と遊び心にあふれています。餃子で旅のタイプを診断する企画や、移住と婚活を組み合わせたマッチングイベントのように、「宇都宮を知ってもらう」「好きになってもらう」ための入り口を、楽しみながら次々と生み出されています。

地域の諸課題に対して遊び心を持ちながらまっすぐ向き合うその姿勢こそ、多くの人を宇都宮へ惹きつける原動力なのだと感じています。

プレスリリースは、誰かを思い、悩み、行動した末に生まれた、挑戦の証だと考えています。宇都宮で生まれる挑戦や、それを伝えようとする工夫の一つひとつが、その背景にある思いとともに全国の生活者へと届く。宇都宮市の皆さまとともに、宇都宮の魅力を全国へ広げる後押しに、全力で取り組んでまいります。



株式会社PR TIMES について

PR TIMES（読み：ピーアールタイムズ）は、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、「行動者」のポジティブな情報がニュースの中心となり、個人を勇気づけ前向きにする社会の実現に挑んでいます。私たちは人の行動や頑張りの結晶を、その想いを紡いで発表するのがプレスリリースだと考え、企業規模を問わず「行動者」が自ら発信できる、PRの民主化を目指して事業を展開しています。プレスリリース配信サービス「PR TIMES」の利用企業数は12万9000社を超え、国内上場企業の65%超に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただくメディア記者2万9000人超、サイトアクセス数は月間約9000万PV、プレスリリース件数は月間4万6000件超、累計で200万件を超えています。全国紙WEBサイト等含むパートナーメディア270媒体以上にコンテンツを掲載しています（2026年5月時点）。



他にも、ストーリーで伝える「PR TIMES STORY」、動画で伝える「PR TIMES TV」、PR活動の設計から実行まで伴走するPRパートナー事業、アート特化型のPRプラットフォーム「MARPH」、「STRAIGHT PRESS」等のニュースメディア事業で、情報発表とその伝播を支援する他、生まれた企画が発表に至るまで前進できるよう支えるタスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」、さらに

発表後のお客様対応や情報整理を円滑に行える カスタマーサポートツール「Tayori」 など、「行動者」を立体的に支える事業を運営しています。

また子会社には、スタートアップメディア「BRIDGE」を運営する株式会社 THE BRIDGE、ソフトウェア受託開発を行う株式会社グルコース、SNS マーケティング支援の株式会社 NAVICUS があります。

【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション：行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名：株式会社 PR TIMES （東証プライム、名証プレミア 証券コード：3922）

所在地：東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 8F

設立：2005 年 12 月

代表取締役：山口 拓己

事業内容：- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」 (<https://prtimes.jp/>) の運営
- ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」 (<https://prtimes.jp/story/>) の運営
- クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR 支援の実施
- 動画 PR サービス「PR TIMES TV」 (<https://prtimes.jp/tv>) の運営
- アート特化型オンライン PR プラットフォーム「MARPH」 (<https://marph.com/>) の運営
- カスタマーサポートツール「Tayori」 (<https://tayori.com/>) の運営
- タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」 (<https://www.jooto.com/>) の運営
- 広報 PR のナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」 (<https://prtimes.com/magazine/>) の運営
- プレスリリース専用エディター「PR Editor」 (<https://preditor.prtimes.com/app/>) の運営
- Web ニュースメディア運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>